



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

7/22(火)

テーマ: 『官と民が協力してできること』

出席91社100名 講師: 千葉県知事 堂本 暁子 氏



Akiko Domoto

葉11条を読み、日本人はもっと物や食べ物を大事にとつくづく感じたと話す堂本知事。

◎いよいよ堂本知事が、美浜倫理にご登場!

堂本知事が倫理に参加されるのは、昨年12月の「経済シンポジウム」以来のことで、単会MSへの参加は今回の美浜が初めて。

知事は、「若手職員に挨拶の習慣がなかったので、県庁でも挨拶運動を始め、今では大分改善されました。日本人は本来の礼儀正しさや温かさを忘れてしまった気がします。皆さんのように、朝から元気よく挨拶し、背筋をピッと伸ばす心構えの経営者がいる会社が増えれば、社会も変わるだろうなと感じました」と挨拶し、本題に入った。

1. “国際化、から”世界化、へ 世界は新しいルール作りを迫られている

従来の国家単位での交渉が通用する“国際化、”の時代はもう終わった。今や“世界化、”が進み、情報も経済も人・物の流れも世界全体が一つの共同体。世界は新しいルール作りを迫られている。

確かに、二十世紀の日本は、中央集権で高度経済成長を遂げたが、既に制度疲労を起こしており、財政面でも官は頼りにできない。その点EUは画期的だ。EUは、「多様性の中の統合」を理念に掲げ、各国の個性を大事にしつつ、経済的統合を果たした。日本も同様に、各県画一の政策から百八十度転換して、千葉は千葉の長所を生かす、千葉主権を確立することが必要だ。

そのためには、六百十万千葉県民一人一人が千葉を愛し、「ここに千葉あり

」というアイデンティティを確立することが大切だ。さもなければ、グローバル化が進めば進むほど、世界化の間で足元を見失ってしまう。知事は、「県政の主役は県民。今だからこそ、県民のニーズを徹底的に聞き、一緒に創り上げていくことが大事」と語る。官と民が協力する構造ができた時、千葉県は強くなる。

2. 産業としての観光へ

観光を千葉県の産業として確立するために、「ちば・夏の観光キャンペーンガイドブック」を昨年から発行。地域別に様々なイベント情報が紹介されている。

3. 商工労働への取組み

①ちば中小企業元気づくり基金

県が、(独)中小企業基盤整備機構、地域金融機関と協調して八十億円の基金を造成。創業支援、中小企業から中堅企業への育成等成長段階に応じたサポートを行う。

②サービス業の生産性向上

サービス業は県内総生産の七割を占めるが、生産性の伸びが低い。製造管理のノウハウやITの導入により、生産性向上を目指す中小企業をモデル事業として支援する。

③商業者の地域貢献ガイドライン

シャッター通りをなくそうと、大型量販店と地元店が既に十カ所以上でお互いの悩みや要望を議論、協力を開始している。また、イオン、イトーヨーカ堂などの大手小売本社と県は、地域振興・地域貢献に関する包括協定を締結。

④障害者雇用の促進 10/24~26「2008なの花アビリンピック inちば」開催。

⑤ワーク・ライフ・バランス 子育てを終えた女性に再就職しやすい環境を整備

◎朝食会では・・・

その後の知事を囲むでの朝食会は超満員で、知事に質問をしたり感想を述べながら、各々会食を楽しんだ。知事は最後に、「今日は話す側でしたが、私は本来聞く主義です。今度はぜひ皆様の声を聞かせて頂く会をお願いします」と満面の笑みで応えてくれた。

次回 第887回MS! 7/29(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-1777)

テーマ 「職場の教養 入学式」 講師 松戸市中央倫理法人会相談役 道畑 勝美 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく